

開発品(2021年5月10日現在)

領域	開発No. (一般名) [製品名]	作用機序 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
感染症	S-649266 (セフィデロコルトシル酸 塩硫酸塩水和物) [米国:Fetroja®] [欧州:Fetroja®]	細胞壁合成阻害(注射)	他の治療がないまたは限定される腎盂腎炎を含む複雑性尿路感染症、院内肺炎(米国) 治療が限定される好気性グラム陰性菌による感染症(欧州)	グローバル:フェーズⅢ(小児) 米国:承認(複雑性尿路感染症)(2019年11月) 米国:承認(院内肺炎)(2020年9月) 欧州:承認(2020年4月)	自社	自社
	S-033188 (バロキサビル マルボキシル) [日本:ゾフルーザ®]	キャップエンドヌクレアーゼ阻害(経口・顆粒)	インフルエンザウイルス感染症	日本:承認(体重20kg以上)(2018年9月) 日本:申請(体重20kg未満)(2018年8月)	自社	自社/Roche社(スイス)
	S-648414	未公表(経口)	HIV感染症	米国・日本:フェーズⅠ	自社	自社
	S-268019	ワクチン(筋注)	新型コロナウイルス感染症の予防	日本:フェーズⅠ/Ⅱ	自社	自社
疼痛・神経	S-297995 (ナルデメジントシル酸塩) [日本:スインプロイク®] [米国:Symproic®] [欧州:Rizmoic®]	末梢性オピオイド受容体アンタゴニスト(経口・散剤)	オピオイド誘発性便秘症(小児)	欧州:フェーズⅠ/Ⅱ	自社	自社
	S-120083	未公表(経口)	炎症性疼痛	日本:フェーズⅠ 米国:フェーズⅡ	自社/Purdue社(米国)	自社/Purdue社
	S-010887	未公表(経口)	神経障害性疼痛	日本:フェーズⅠ	自社	自社
	S-117957	未公表(経口)	不眠症	米国:フェーズⅠ	自社/Purdue社(米国)	自社/Purdue社
	S-600918 (sivopixant)	P2X ₃ 受容体アンタゴニスト(経口)	神経障害性疼痛	日本:フェーズⅠ	自社	自社
	S-600918 (sivopixant)	P2X ₃ 受容体アンタゴニスト(経口)	難治性・原因不明慢性咳嗽	グローバル:フェーズⅡ	自社	自社
	S-600918 (sivopixant)	P2X ₃ 受容体アンタゴニスト(経口)	睡眠時無呼吸症候群	日本:フェーズⅡ	自社	自社
	S-637880	未公表(経口)	神経症状を伴う慢性腰痛	日本:フェーズⅡ	自社	自社
	S-812217 (zuranolone)	GABAA受容体ポジティブアロステリックモジュレーター(経口)	うつ病・うつ状態	日本:フェーズⅡ	Sage社(米国)	自社/Sage社
	SDT-001	中枢作用に基づく、治療用デジタルアプリ	ADHD患者の不注意症状(小児)	日本:フェーズⅡ	Akili社(米国)	自社/Akili社
	BPN14770	PDE4Dネガティブアロステリックモジュレーター(経口)	脆弱X症候群	米国:フェーズⅡ	Tetra社(米国)	自社/Tetra社
	BPN14770	PDE4Dネガティブアロステリックモジュレーター(経口)	アルツハイマー型認知症	米国:フェーズⅡ 日本:フェーズⅡ	Tetra社(米国)	自社/Tetra社
代謝疾患	S-237648	ニューロペプチド Y Y5受容体アンタゴニスト(経口)	肥満症	日本:フェーズⅡ	自社	自社
	ADR-001	ヒト他家脂肪組織由来の間葉系幹細胞(注射)	非代償性肝硬変	日本:フェーズⅠ/Ⅱ	ロート社	自社/ロート社
	S-723595	アセチルCoAカルボキシルラーゼ2阻害(経口)	非アルコール性脂肪肝炎	日本:フェーズⅠ	自社	自社

領域	開発No. (一般名) [製品名]	作用機序 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
フロンティア	S-588410	がんペプチドワクチン (注射)	食道がん	日本: フェーズⅢ	オンコセラピー・サイエ ンス社 (日本)	自社
	S-588410	がんペプチドワクチン (注射)	膀胱がん	日欧: フェーズⅡ	オンコセラピー・サイエ ンス社 (日本)	自社
	S-488210	がんペプチドワクチン (注射)	頭頸部がん	欧州: フェーズⅠ/Ⅱ	オンコセラピー・サイエ ンス社 (日本)	自社
	S-588210	がんペプチドワクチン (注射)	固形がん	英国: フェーズⅠ	オンコセラピー・サイエ ンス社 (日本)	自社
	S-222611 (epertinib)	HER2/EGFRデュアル阻 害薬(経口)	悪性腫瘍	欧州: フェーズⅠ/Ⅱ	自社	自社
	S-770108	抗線維化作用(吸入)	特発性肺線維症	日本: フェーズⅠ	自社	自社
	SR-0379	肉芽形成促進作用 (外用)	皮膚潰瘍(褥瘡)、糖尿 病性潰瘍)	日本: フェーズⅡ	ファンペップ社 (日本)	自社/ファンペ ップ社
	S-005151 (レダセムチドトリフルオ ロ酢酸塩)	間葉系幹細胞を末梢血 に動員(注射)	脳梗塞	日本: フェーズⅡ	ステムリム社 (日本)	自社
	S-005151 (レダセムチドトリフルオ ロ酢酸塩)	間葉系幹細胞を末梢血 に動員(注射)	表皮水疱症	日本: フェーズⅡ(申請 準備中)	ステムリム社 (日本)	自社

<導出品>

開発No. (一般名) [製品名]	作用機序 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
S/GSK1265744 LAP*1 (cabotegravir)	インテグラーゼ阻害 (注射)	HIV感染症(治療 及び予防)	(CAB*2 LAP+RPV*3 LAP 2剤療法) カナダ:承認(2020年3月) 米国:承認(2021年1月) 欧州:承認(2020年12月) (CAB LAP、予防適応) グローバル:フェーズⅢ	Shionogi-ViiV Healthcare社	治療:ViiV Healthcare社(英国) 予防:ViiV社、 HPTN、NIAID、Gilead 社(米国)
S-0373	非ペプチド型TRHミメティ ック(経口)	脊髄小脳変性症	日本:フェーズⅢ(申請準備中)	自社	キッセイ薬品(日本)
S-033188 (バロキサビルマル ボキシル) [米国:Xofluzo™]	キャップエンドヌクレアー ゼ阻害(経口)	インフルエンザウ イルス感染症	米国:承認(2018年10月) 米国:承認(ハイリスク患者)(2019年10月) 米国:申請(小児、1歳以上)(2020年3月) 米国:承認(顆粒、12歳以上)(2020年11月) 米国:承認(予防投与、12歳以上)(2020年11 月) 欧州:承認(治療、12歳以上)(予防投与、12歳 以上)(2021年1月) グローバル:フェーズⅢ(小児、1歳未満) グローバル:フェーズⅢ(伝播抑制)	自社	自社/Roche社 (スイス)
S-555739 (asapirant)	プロスタグランジンD2 DPI1受容体拮抗(経口)	COVID-19の重症 化抑制	米国:フェーズⅡ	自社	BioAge社(米国)

*1 Long acting parenteral formulation、*2 Cabotegravir、*3 Rilpivirine

2021年2月1日からの変更点

ステージの変更	BPN14770(アルツハイマー型認知症):日本:フェーズⅠ→フェーズⅡ
	S-0373(脊髄小脳変性症):日本:フェーズⅢ→申請準備中
開発品の追加	S-555739(COVID-19の重症化抑制):米国:フェーズⅡ
開発品の削除	S-033188(小児高用量):日本:開発中止のため
	S-033188(予防投与)(体重20kg以上):日本:承認取得のため
	S-297995(術後イレウス):米国:開発中止のため
	LY248686(うつ病・うつ状態)(小児):日本:開発中止のため
	S-237648(肥満症):米国:開発中止のため
	S-707106(2型糖尿病):米国:開発中止のため
S-033188(重症):グローバル:開発中止のため	